

平成26年度「市民と議会の対話集会」において後日回答することとした意見交換の記録及び行政からの回答

会場・項目	中津川文化会館会場 ・ 行政問題
会場での質問・回答	質問 新図書館建設予定だった用地に駐車出来ないのはなぜか。 回答 <u>確認する。</u>
行政の担当部課	商業振興課
行政からの回答	新町ビル跡地につきましては、活用方法を検討している状況で、埋設してある基礎杭については、今後構造物の活用が決定するまでは、資産として適正に管理していきます。駐車場など杭を活用しない用途に使用した場合、杭が産業廃棄物の扱いとなり撤去する必要が発生することから、駐車場としての活用はできません。また、現在施してある舗装については防塵のための簡易舗装です。

会場・項目	苗木会場 ・ 水道事業
会場での質問・回答	質問 水道管の耐震はどうなっているか。 回答 今は把握しておりません。 <u>調べて返答します。</u> 質問 何年か前の質問では48%と聞いた、なぜ今答えられないのか問題である。 回答 水道部も年々耐震を進めています。 <u>進捗率、耐震化率を調べて報告します。</u>
行政の担当部課	水道課
行政からの回答	管路の耐震化率につきましては、市全体で平成25年度末現在、 <b>5.1%</b> （主要管路φ50以上） 配水池の耐震化率については、市全体で平成25年度末現在、 <b>53.1%</b> 進捗率については、管路についてのみ耐震化計画が策定されましたが、平成25年度策定、平成27年度から事業着手のため、進捗率は0%です。

会場・項目	苗木会場 ・ 市有財産マスタープラン
会場での質問・回答	質問 苗木の公共施設の耐震化は済んでいるか。障がい者や体の悪い方が避難できるところがない。学校以外に集会所等の耐震化は考えているか。申請はどこで、補助率はどれだけか。 回答 耐震調査は当市でもやっており、耐震化には補助制度があります。木造建築は補助対象で、梁に鉄骨を使っていると対象外です。苗木事務所で申請できます。 <u>補助率は調べて報告します。</u>
行政の担当部課	市民協働課
行政からの回答	当市で実施している補助制度は「自治会集会施設整備補助金交付取扱要綱」に基づき、補助金の額は、「事業に要する費用の100分の70以内で、限度額が840,000円」と定められています。

会場・項目	苗木会場 ・ 安全安心
会場での質問・回答	<p>質問 ハザードマップの全戸配布はまだか。集会所に配布してほしい。議会は予算を通してなぜわからないのや。</p> <p>回答 一部は配られましたが印刷が遅れています。<u>調べて報告します。</u></p>
行政の担当部課	防災安全課
行政からの回答	<p>全戸配布については、平成27年1月から3月にかけて区長会等で配布します。集会所に貼るような大きめのサイズのは防災訓練の図上訓練を通してお配りしておりますので、ご要望があれば防災安全課までお問合せください。</p>

会場・項目	阿木会場 ・ 行政問題
会場での質問・回答	<p>質問 交流センターに診療所を併設してほしい。現状ではしっかりした診療ができない。「先生の確保が難しいのに施設を整えても仕方がない」と言われたが、それはおかしい、しっかり整備してほしい。</p> <p>阿木と川上の診療所に、名古屋から来て頂いているが、先生の不満が溜まっている。早く整備をしてほしい。</p> <p>回答 <u>病院事業部に確認します。</u></p>
行政の担当部課	医事課
行政からの回答	<p>阿木診療所は、地域住民の一次医療を担っている。将来にわたり地域医療を守り続けていくには、各公立病院、公立診療所の役割分担と医療連携が不可欠である。</p> <p>しかし、市民病院、国保坂下病院の医師確保は困難な状況が続いており、市民病院においては、名大総合診療科の支援により運営が維持できているが、将来の保証はない。</p> <p>阿木診療所についても、名大総合診療科の支援により運営が維持できているが、医師確保についてはめどが立っていないため、必要な修繕を行いながら現状維持を図る。</p> <p>また、病院事業会計は赤字で、借入金も多く今後、今以上の繰り入れも見込めないため、交流センターへ診療所の併設は困難である。</p>

会場・項目	阿木会場 ・ 福祉事業
会場での質問・回答	<p>質問 市の補助による市民病院への送迎は、H27年に予算がなくなる。NPO法人福祉村に対する支援を望む。</p> <p>回答 市からNPO法人福祉村の現状を聞いていませんが、コミュニティーバスは必要で、<u>市に確認します。</u>地域で懇談して方向を考えてほしいと思います。</p>
行政の担当部課	定住推進課

行政からの回答	<p>阿木地区では、地域の交通手段としてコミュニティバスを週3日（火・木・土）運行しています。コミュニティバスとは別に NPO 福祉村が福祉バスとして市民病院行のバスを週一回（水）運行しています。</p> <p>福祉バスは NPO 福祉村の事業として取り組まれている部分になりますので直接の支援は考えていません。</p> <p>ただし、H27 に予定している地域住民による地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目的とした交付金を活用し取組むことが考えられます。</p>
---------	---

会場・項目	阿木会場 ・ まちづくり
会場での質問・回答	<p>質問 広報無線は整備されたが、有線個別受信機と一緒に活用できたら良い。交通安全、火災予防など改善が必要。</p> <p>回答 防災無線は市で一括放送になりましたので、今後検討していきます。エリアトークを付知、福岡、蛭川が導入していますが、民間運営で個別受信機は個人負担です。市の補助金上限は放送基地の整備費用として 250 万円で、地域内の 50%加入が必要となります。</p> <p><u>調べてお答えします。</u></p>
行政の担当部課	防災安全課
行政からの回答	<p>現在、中津川市内に運用中の有線放送設備がないため、防災行政無線と有線戸別受信機との活用はできません。交通安全・火災予防などは携帯メール（市民安全情報ネットワーク）による代替手段により周知を図っているところです。先に説明されたエリアトークの整備費用の補助は定住推進課でおこなっております。エリアトークの整備については、地域で検討してください。</p> <p>なお、エリアトーク整備が決まった後には、土砂災害特別警戒区域内の世帯などに対して戸別受信機購入補助事業を防災安全課が行っておりますので、ご相談ください。</p>